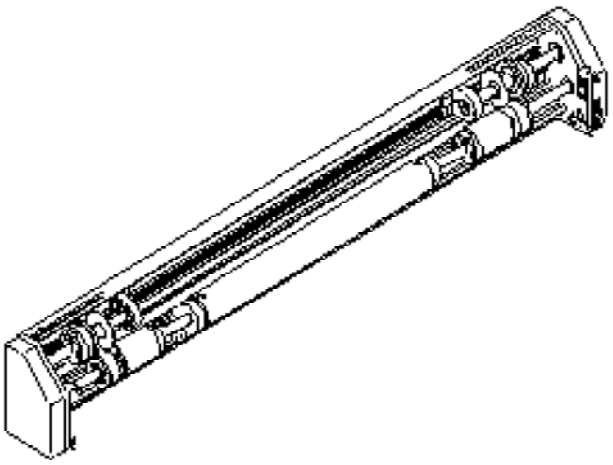
A99H158-00

壁紙巾裁断ユニット

SetUpスリッター（DLC仕様）



取扱説明書

安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読み下さい。

この度は壁紙巾裁断ユニット「SetUpスリッター(DLC仕様)」をお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を安全にお使いいただくための事柄を記載してあります。ご使用の前に、本書を最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。また、本機をご利用の際、必要なときすぐに利用できますように本書を大切に保管しておいて下さい。

極東産機
'10.01.15
参考

お使いになる前に

開梱時には以下のものが全て揃っている事をご確認下さい。

・スリッター本体　　・取扱説明書
・インテリア機器登録カード

品質には万全を期しておりますが、万一不足や運送中の破損等があった場合は、速やかに弊社営業所までご連絡下さい。

目　　次

安全上のご注意 …… 1
各部の名称 …… 3
グリッパーの調整 …… 4
スリッターの取付 …… 5
クロス裁断幅の調整 …… 6
切り屑ガイドの取付 …… 7
クロス原反のセット …… 8
スリッター上刃物の交換 …… 9
スリッター下刃物の交換 …… 10
ガイドローラーの組み付け …… 11
スリッターのお手入れ …… 12
仕様 …… 12

安全上のご注意

壁紙巾裁断ユニットをご使用いただくには、正しい取り扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。
以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで糊付作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取り扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により　⚠[警告]　⚠[注意]　[メ　モ]　という項目に分類して表示しています。

⚠[警告]　‥‥　この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

⚠[注意]　‥‥　この表示を無視して誤った取り扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

[メ　モ]　‥‥　これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

⚠警告

スリッターは、回転する２枚の刃物でクロスを切断する構造になっています。運転中は絶対に刃物に触れないで下さい。手が切れます。

スリッター刃物の取り扱いには十分に注意して下さい。手を切る恐れがあります。

⚠注意

本機は精密機械です。落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないで下さい。

保管時は高温・多湿な場所を避けて下さい。また、直射日光の当たる車中に長時間放置しないで下さい。

スリッターを取り付けた糊付機は必ず、水平なところでご使用下さい。傾いているとまっすぐ裁断できない場合があります。

機械の空運転は避けるようにして下さい。スリッターの刃物の寿命を縮めます。

スリッターの刃物に水や糊が付着したまま放置すると刃物に錆が発生し切れ味が鈍ります。使用後は必ず乾いた布等できれいに拭き取って下さい。

⚠注意

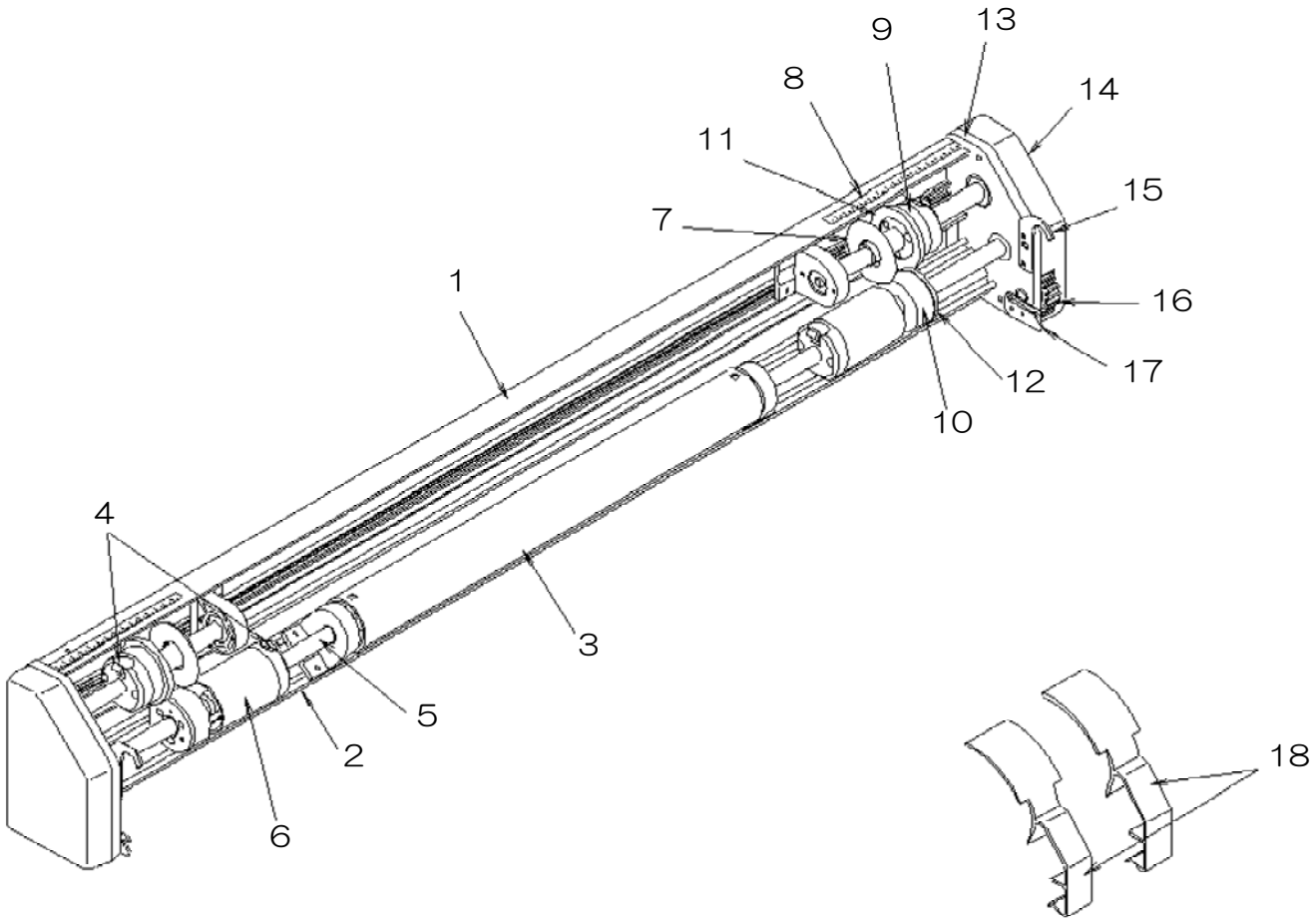
スリッターの刃物は強く押しつけすぎないように注意して下さい。押し付けすぎると刃物の磨耗が早くなり、寿命も短くなります。通常の壁紙の場合は強く押しつけなくても十分に切断できます。切れにくい壁紙の場合のみ少し強めに押し付けるようにして下さい。

刃物の切れ味を保つため、乾いた布等できれいに拭いた後、薄く油を塗布して下さい。但し、油が付着したままでの使用はクロスに油が転移しますので、使用前には必ず拭き取ってご使用下さい。

スリッターの運搬時には、刃物の間にカッターシールを挟みこんで下さい。振動により刃先が破損することを防ぎます。

運搬時は糊付機から取り外して下さい。振動等で機械が外れ、破損する恐れがあります。

各部の名称



1. 上刃固定ステー
2. 下刃固定ステー
3. ガイドローラー
4. ロック解除レバー
5. 下刃物用シャフト
6. 押さえローラー
7. カッターシール
8. 目盛板
9. 上刃物用ボス
10. 下刃物用ボス
11. 上刃物
12. 下刃物
13. フレーム
14. カバー
15. フック
16. 駆動用歯車
17. グリッパー
18. 切屑ガイド

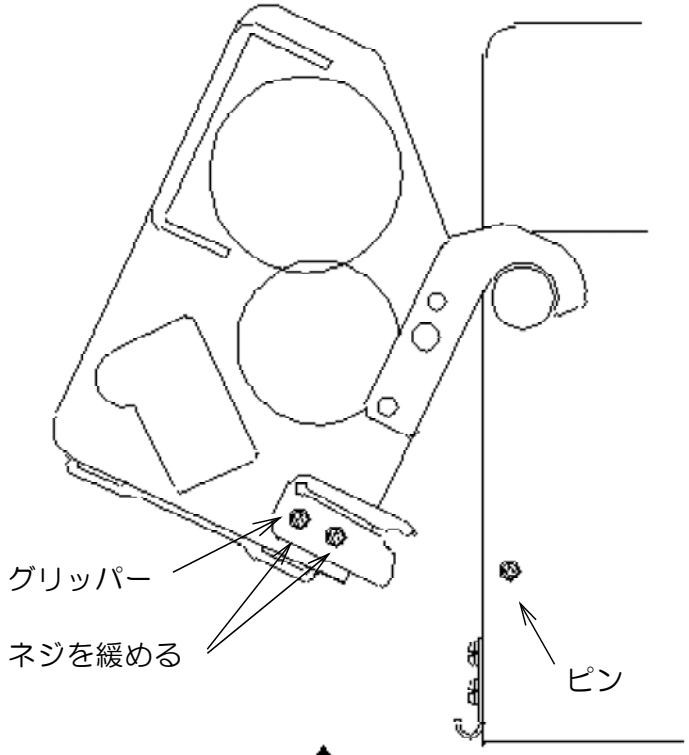
グリッパーの調整

スリッターを自動壁紙糊付機に取り付けた際の取付具合を調整します。
ご使用になる前に、必ず取付具合の調整を実施して下さい。

［1］ スリッターを外した状態で、お手持ちの ＋ ドライバーでグリッパーの取付ネジ（片側2本づつ）を緩めます。

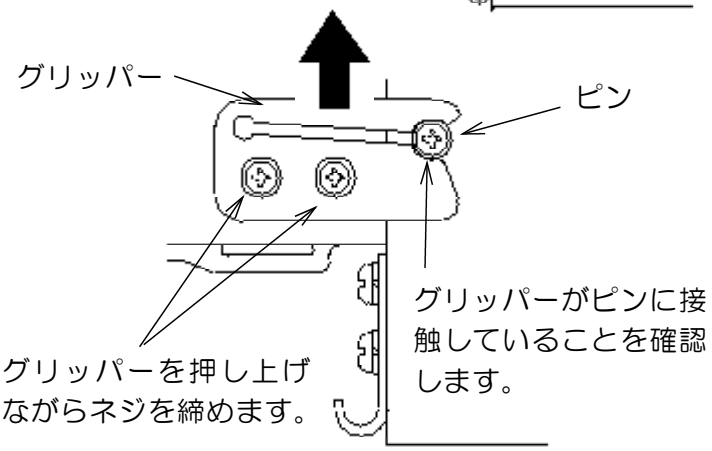
※グリッパーが軽く動く程度まで緩めて下さい。

［2］ グリッパーを緩めた状態で本体にスリッターを取り付けて下さい。



［3］ 右図のようにグリッパーがピンに当たるようにグリッパーを押し上げながらネジを締め固定して下さい。

［4］ 反対側のグリッパーも同様の手順で調整して固定して下さい。



注 意

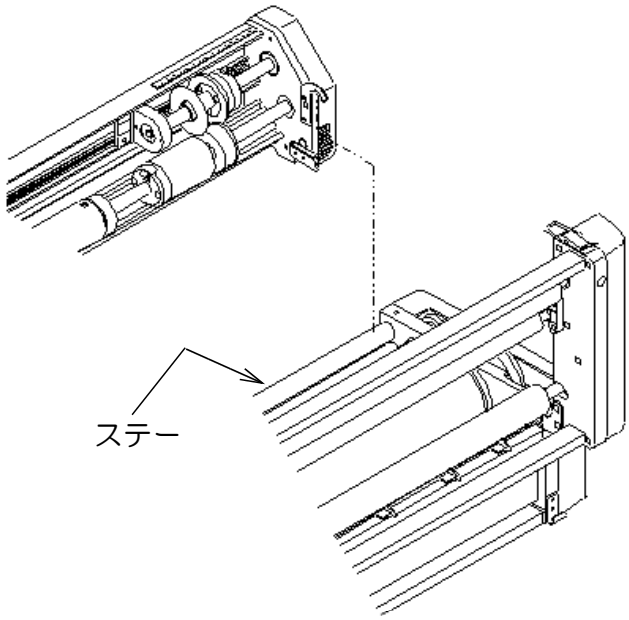
グリッパーの調整は左右同時に緩めてから行って下さい。

スリッターの取付

スリッターを自動壁紙糊付機に取り付けます。

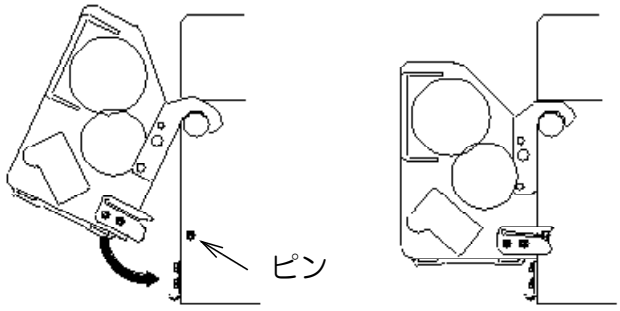
［1］ 糊付機のステーにスリッターのフックを引掛けます。

［2］ 引掛けた後、糊付機のステーを軸にしてスリッターを回転させ、グリッパーが糊付機のピンにはまるようにセットします。



＜取り外すときは？＞

スリッターを取り外すときは、上刃物固定用ステーを両手でしっかりと持ち、糊付機のステーを軸にして手前にひねるように持ち上げて下さい。



MEMO

・駆動用歯車のかみ合いが悪く、スリッターが浮き上がっているときは、下刃物用シャフトを少し手で回転させると直ります。
・下刃物用シャフトはガイドローラーを手で回転させると簡単に回転できます。
・下刃物用シャフトを回転させても、スリッターが浮き上がっている時はグリッパーの調整を再度行って下さい。

注 意

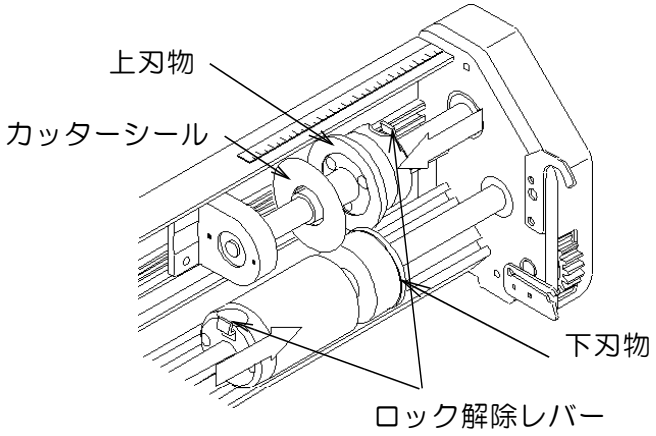
・取付は必ず糊付機本体の電源を切った状態で行って下さい。 誤って動き出すとケガをする恐れがあります。
・スリッターは確実に所定の位置にセットするようにして下さい。本体の位置がずれたり浮き上がった状態のまま使用すると故障の原因となります。

クロス裁断幅の調整

スリッターのクロス裁断幅を調整します。

［1］ 上下の刃物に挟んであるカッターシールを移動させて下さい。

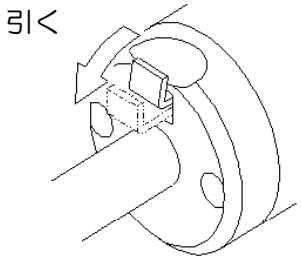
［2］ 上刃物及び下刃物のロック解除レバーが上になるように、ガイドローラーを回して下さい。
※糊付機に取り付けたまま調整する場合は、割込スイッチで回転させて下さい。



［3］ 下刃物のロック解除レバーを引きながら、押えローラーを後方へスライドさせ、下刃を離します。

［4］ 上刃物用ボスを移動させてクロス切断位置に上刃物を移動させます。

［5］ 下刃物が上刃物に軽く当たるように押えローラーを押し付けます。



＜幅調整のポイント＞

上刃物、下刃物共に相手刃物方向には手で押すだけで移動し、逆方向にはロック解除レバーを引いた状態でスライドさせることが出来ます。

・刃物を強く押し付けすぎると、刃物の磨耗が早くなります。
（スプリングが1cm程度縮むのが基準目安です。）
・一般のビニルクロスの場合は、下刃物を軽く押しつける程度（ボスとローラーの間が25mm程度）で切断できますが、布クロスなどの切れにくいクロスの場合は少し強めにセットして下さい。
・左右の上刃物を目盛の「0」位置にセットした場合、クロスの切断幅は約90cmとなります。

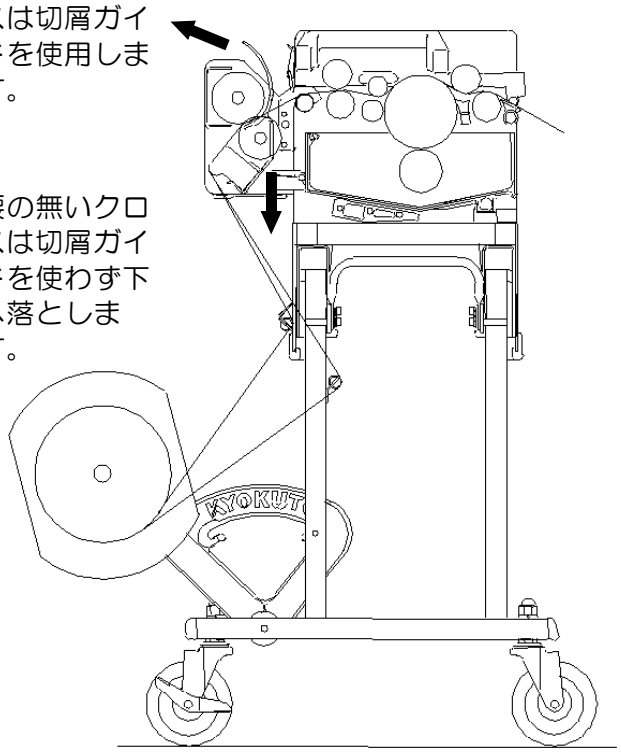
・裁断幅を調整する際は必ず下刃物から離して下さい。上刃物を先に離すと、スプリングで下刃物が押し出され、手を切る恐れがあります。
・下刃物部分のロック解除レバーを操作するときは、スプリングで押えローラーが押し出されて手を挟まれる恐れがありますので、押えローラーをしっかり持って操作を行って下さい。

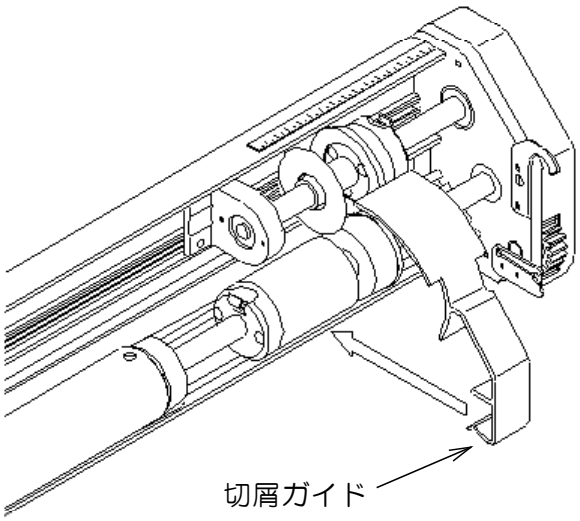
切屑ガイドの取付

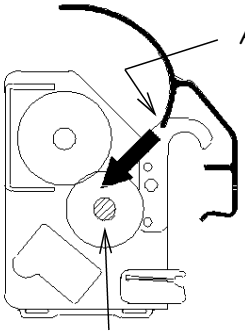
裁断したクロスの耳をスムーズに排出するために、切屑ガイドをスリッターに取り付けます。

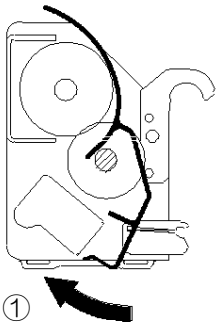
腰のあるクロスは切屑ガイドを使用します。

腰の無いクロスは切屑ガイドを使わず下へ落とします。









＜切屑ガイドの取り付け方＞

切屑ガイドのA部が下刃用シャフトの上側にくるように入れ、①のように下部を旋回させるようにして取り付けて下さい。

MEMO

切屑ガイドは、クロスの腰の強さ、厚み、及び切屑の幅を考慮した上で、ガイドを利用して上側から排出するか、使用せずに下へ落とすかを決めて下さい。

注 意

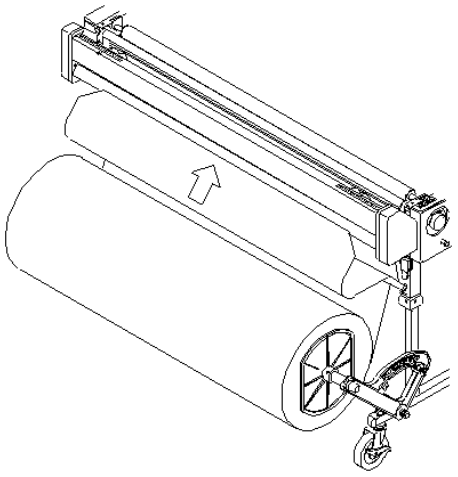
クロスの切り始めなど、場合によっては切屑の排出がうまくいかず、切屑が溜まって機械に巻き込む場合があります。使いはじめは切屑の排出具合に注意し、確認しながら作業を行って下さい。

クロス原反のセット

スリッターを使用する場合のクロスのセットは刃物を回転させながら行います。ひとつ間違うと思わぬ事故につながりますので、下記をよく読み、完全に理解するまでは作業を行わないで下さい。

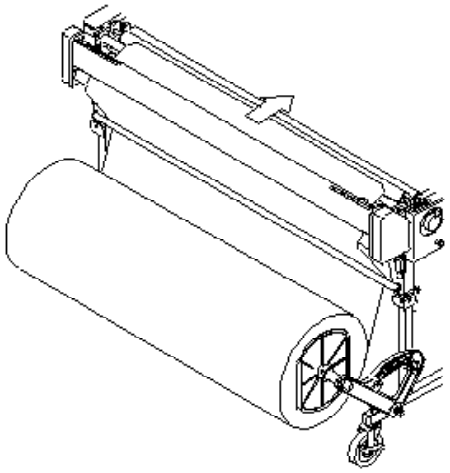
［1］ テンションバーへのクロスの通し方はスリッターのない場合と同様です。

［2］ 糊付機の上部フレームを開き、割込スイッチを押して刃物を回転させておきます。
（スピードを低めに設定しておくと作業しやすくなります。）



［3］ クロスを上刃物固定用ステーと下刃物固定用ステーの間から差し込み、上へ引き出して下さい。

［4］ 割込スイッチを押して機械の回転を止め、引き出したクロスを糊付機にセットして下さい。



MEMO

クロスの先端両脇を事前にカッターナイフなどで斜めにカットしておくと、クロスの差し込みがスムーズにでき、切り始めも滑らかになります。

注 意

クロスを差し込む際は、クロス中央部に手を添えて差し込むようにして下さい。
両脇はガイドローラーと刃物が回転して危険です。ガイドローラーと刃物には絶対に手を近づけないで下さい。

スリッター上刃物の交換

スリッターの刃物は消耗品です。刃物の磨耗と同時に切断性能が低下しますので、刃物交換を行って下さい。下記の作業は片側のみの作業を解説しています。逆側の作業も同じ要領で実施して下さい。

作業の前に準備する物
- ・六角レンチ３㎜
- ・プラスドライバー
- ・軍手などの保護具（ケガをする恐れがありますので必ず着用して下さい。）

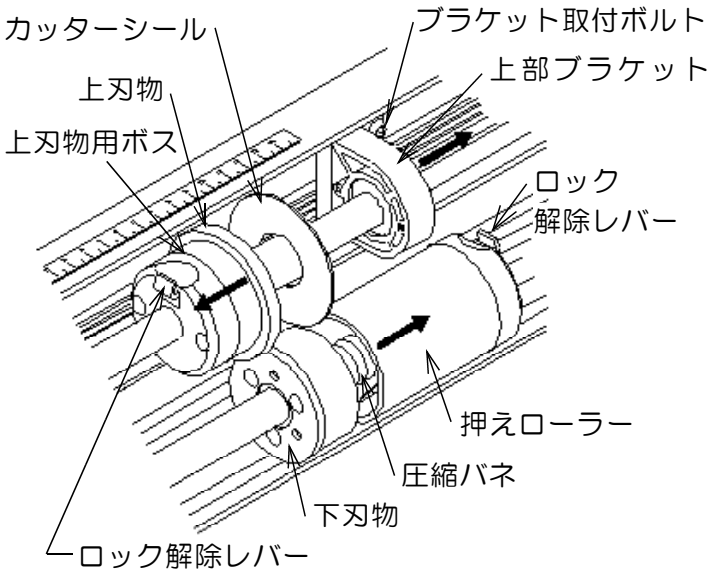
［1］ ロック解除レバーが上になるように押えローラーを手で回転させて下さい。

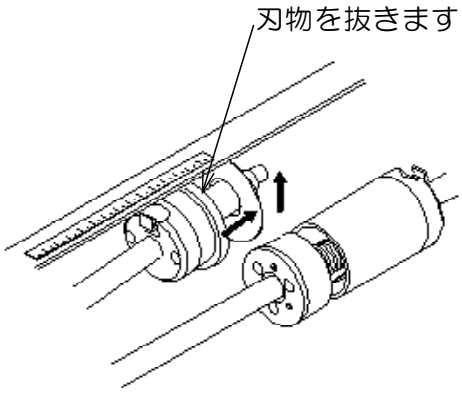
［2］ ロック解除レバーを引きながら押えローラーを後方へスライドさせ、下刃物を本機の中央方向へ寄せて下さい。

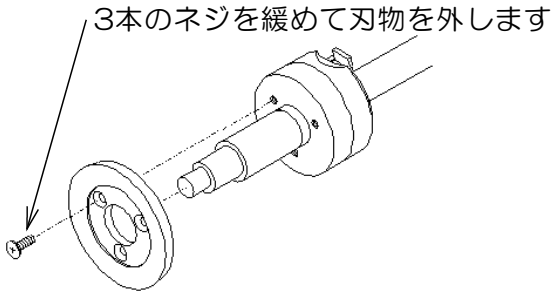
［3］ 軸受ブラケット（上刃用）の取付ネジ2本を緩め、上部ブラケットを横にスライドさせて下さい。

［4］ 上刃物の3本のネジを緩めて上刃物用ボスから上刃物を取り外します。上刃物用シャフトを少し上向きに傾けて、上刃物と下刃物の間に隙間を開けてから交換して下さい。

［5］ 新しい刃物を上刃物用ボスに入れてネジ止めします。
上部ブラケットを横にスライドさせ、シャフトを差込み、取付ボルト2本を締めて下さい







注 意

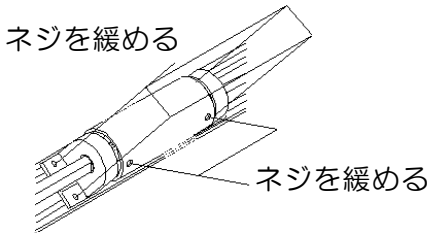
- ・交換作業はスリッターを糊付機から取り外して行って下さい。
- ・刃物の取り扱いには十分注意して下さい。
- ・刃物用シャフトを必要以上に傾けないで下さい。ベアリングが破損します。
- ・カッターシールを忘れずに取り付けて下さい。

スリッター下刃物の交換

スリッターの刃物は消耗品です。刃物の磨耗と同時に切断性能が低下しますので、刃物交換を行って下さい。下記の作業は片側のみの作業を解説しています。逆側の作業も同じ要領で実施して下さい。

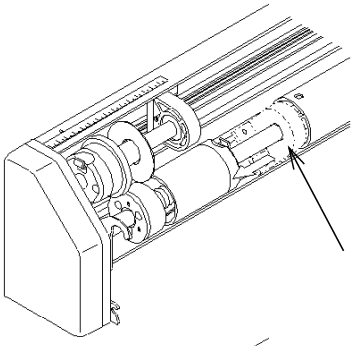
［1］ 左右の上刃物を外側いっぱいに寄せて下さい。

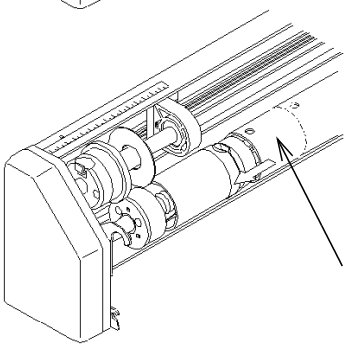
［2］ ガイドローラーの固定ネジと下刃物用の軸受けブラケットの固定ネジをレンチで緩めて下さい。



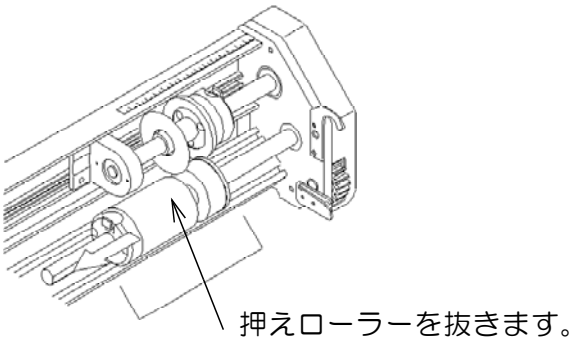
［3］ 刃物を交換したい側と反対側の下刃物用の軸受ブラケットとガイドローラーを外側へスライドさせて下さい

→交換したい側のガイドローラーと軸受ブラケットの間に隙間ができます。

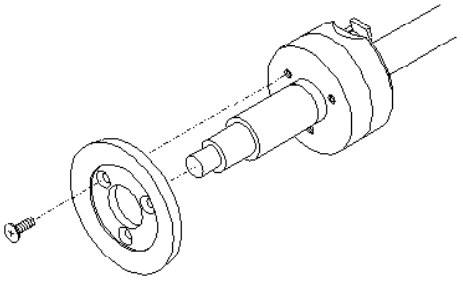




［4］ 生じた隙間から交換したい側の軸受けブラケット、押えローラー、圧縮バネ、下刃物用ボスの順に取り外して下さい。

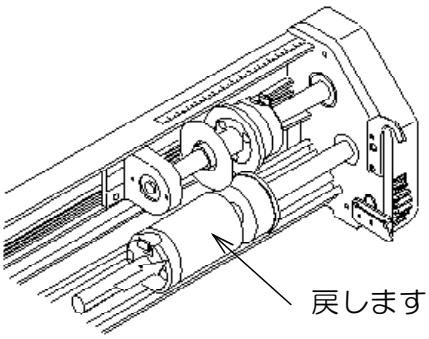


［5］ 下刃刃物用ボスから下刃物を取り外して交換して下さい。

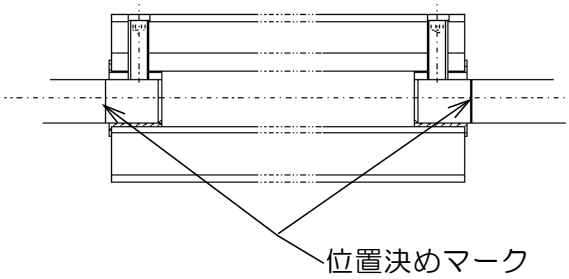


スリッター　ガイドローラーの組み付け

［1］ 取り外した逆の手順でシャフトへ戻します。



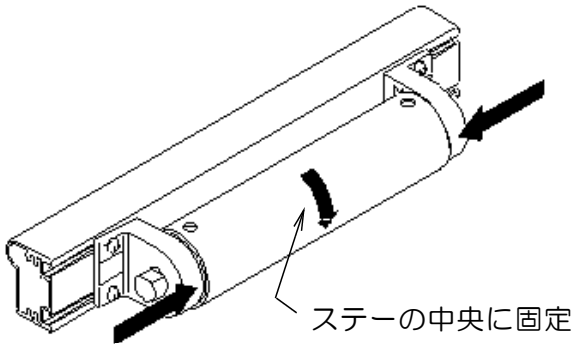
［2］ ガイドローラーを中央に戻して、仮止めします。
（中央の位置は位置決めマークを目安に決定して下さい）



［3］ 軸受けブラケットをガイドローラーに軽く押しつけ、固定します
軸受けブラケットがステーの中央になるように取り付けて下さい。

→交換したい側のガイドローラーと軸受ブラケットの間に隙間ができます。

［4］ 最後にガイドローラーのセットビスを締め込みます。



注　意

・軸受けブラケットを固定するときは、ガイドローラーを手で回しながらスムーズに回転することを確認し、ネジを徐々に締め込んで下さい。ネジを一気に締め込むとシャフトの芯がずれ、回転むらや異音、振動を引き起こすことがあります。
・ガイドローラーの固定時は、シャフトの面取り位置に注意して下さい。
セットボルトと面取りの位置がずれている場合には、空転する場合があります。

スリッターのお手入れ

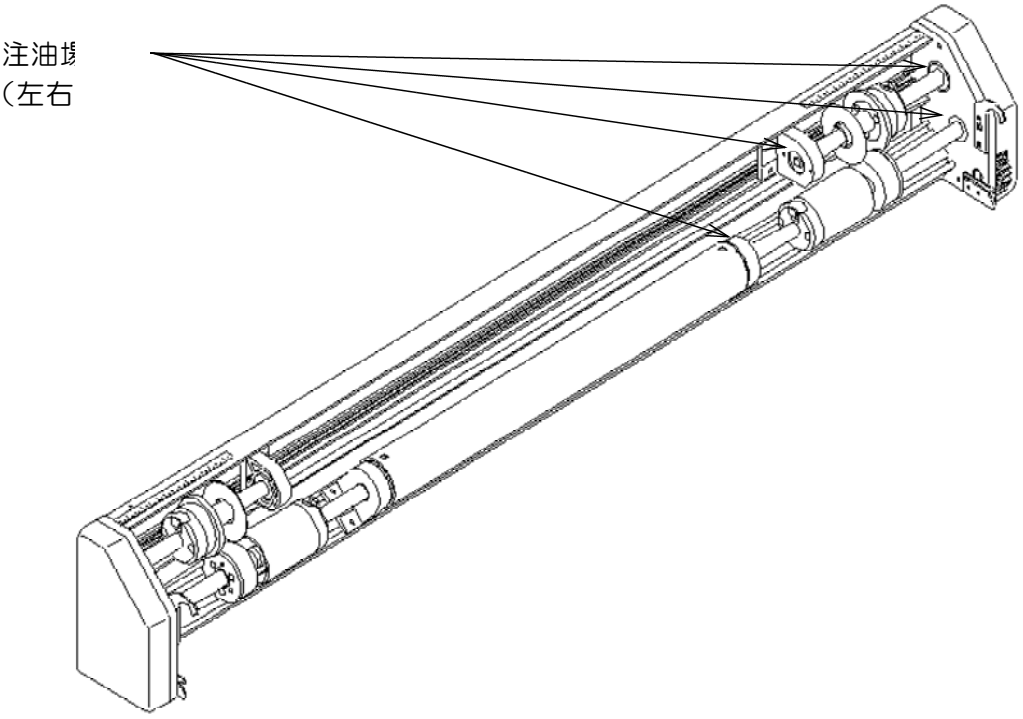
スリッターの手入れが不十分な場合は、裁断性能が低下し、切り口が波打ったり切れ味が悪くなったりします。作業が終われば下記の手順に従って掃除と手入れを充分に行って下さい。

［1］各部のネジのゆるみを確認し、ゆるみがあれば増し締めして下さい。

［2］歯車のセットビスのゆるみを確認し、ゆるみがあれば増し締めして下さい。

［3］刃物を乾いた布などで空拭きし、付着した埃やゴミをきれいに取り除きます。
糊が付着している場合は、堅く絞った雑巾できれいに拭き取り、その後乾燥した布で水分を拭き取ります。
付着した汚れを取り除いた後は、刃物に薄くシリコンオイルを塗布して下さい。
→切断作業前には付着したオイルをきれいな布などで必ず拭き取って下さい。

［4］シャフトの軸受部分に注油して下さい。



仕　様

製品コード	051-0298-00
外形寸法	155mm(H) x 105mm(D) x 1,176mm(W)
重　　量	約7.6Kg
切断有効幅	840mm～1,020mm

製品仕様は改良等のために予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー
極東産機株式会社
〒679-4195兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL http://www.kyokuto-sanki.co.jp/

お客様相談室　0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00～18:00）